

大葉大學九十二學年度轉學招生考試試題紙

系組別	日\第二部	年級	考試科目 (中文名稱)	考試日期	節次	備註
應用日語	日間部	三	中級日語	7月23日	/	共四頁

註：考生可否攜帶計算機或其他資料作答，請在備註欄註明（如未註明，一律不准攜帶）  
08:00 ~ 09:20

問題一 漢字の読み方を、1, 2, 3, 4から一つ選びなさい。 毎題1分

- 1 源 ( 1, けん 2, はら 3, みなもと 4, みなもと )
- 2 造作 ( 1, ぞうさく 2, そうざ 3, ぞうさ 4, そうさく )
- 3 空模様 ( 1, ぞらもうよ 2, そらもよう 3, からもよう 4, そらもうよう )
- 4 催し物 ( 1, さいしぶつ 2, もよおしもの 3, もようしぶつ 4, さいしもの )
- 5 扉 ( 1, どあ 2, とびら 3, と 4, どうあ )
- 6 穏やか ( 1, おだやか 2, おたやか 3, おたやが 4, おだやが )
- 7 促す ( 1, うながす 2, きながす 3, さす 4, みす )
- 8 告げる ( 1, こくげる 2, つける 3, つげる 4, ずける )
- 9 繰り返す ( 1, ぐりがえす 2, くりがえす 3, くりかえす 4, ぐりかえす )
- 10 捉える ( 1, つかまえる 2, とらえる 3, どちら 4, つかまえる )

問題二 次の(1)から(5)の \_\_\_\_\_ の言葉の意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。 毎題4分

(例) とおす……その作家は、生涯独身をとおした。

- 1 障子をとおして、やわらかい光が入ってくる。
- 2 夫人が私たちを奥の部屋にとおしてくれた。
- 3 がんばって書いたのに、先生は卒業論文をとおしてくれなかった。
- 4 わが社としては、従来の方針をとおすつもりだ。

はじめに示された文の中の「とおす」は、独身を「つづける」という意味です。1、2、3の「とおす」は、それぞれ「通過する」、「案内する」、「合格させる」という意味ですが、4の「とおす」は、従来の方針を「つづける」という意味ですから、正解は4です。

(1) せかい……悩んでいるのは自分だけではないと知って、せかいがひらけた感じがした。

- 1 まだまだ我々の知らないせかいがたくさんある。
- 2 日本のニュースに続いてせかいのニュースが放送される。
- 3 どんなすばらしい選手でも必ずおとろえる。勝負のせかいはきびしい。
- 4 定年になったら、夫婦でせかい一周の船の旅をしようと計画している。

(2) くに……都会にいと、くにの親が送ってくれるいなかの食べ物ほんとうにうれしい。

- 1 この町にはいろいろくにの人が住んでいる。
- 2 くにをあげて観光事業に取り組んでいる。
- 3 仲間が集まると、みんながくにの名物や祭りの自慢をしてにぎやかだ。
- 4 子どものときサーカスに行った。何もかもふしぎでおもしろく、夢のくにに来たかと思った。

(3) ひく……あの人は人目をひくかっこうをするのが好きだ。

- 1 5から3をひくと2になる。
- 2 なべを温めてから油をひいた。
- 3 8歳の女の子からの投書が、私の注意をひいた。
- 4 いなかの父は、自分の家のふろに温泉をひいている。

(4) しぶい……二人とも踊りの名人だが、一方はしぶくて、一方ははでだ。

- 1 お茶を濃くいれすぎるとしぶくなる。
- 2 今度のニュース解説者は、ネクタイの趣味がしぶい。
- 3 あの人は運動の趣旨には大いに賛成してくれたけれど、寄付はしぶかった。
- 4 オートバイを買ったと報告したら、父母はしぶい顔をした。

(5) なげる……あの人のことはもうなげている。何を言ってもむだだ。

- 1 うちのイヌは、ボールをなげてやると喜んで追いかける。
- 2 まじめな職業の代表と思われていた銀行員の犯罪は、社会に話題をなげた。
- 3 すもうでは、からだの大きな人が小さな人になげられたりするからおもしろい。
- 4 手伝うと言っておいて、途中でなげられては困る。ちゃんと最後までやってほしい。

問題三 次の文の \_\_\_\_\_ にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

毎題 2分

(1) もう3年も国に帰っていないので、両親に会いたくて\_\_\_\_\_。

- 1 きれない
- 2 ほかない
- 3 しかない
- 4 ならない

(2) いそがしくて、休みをとる \_\_\_\_\_ 食事をする時間もない。

- 1 ものなら
- 2 ことなく
- 3 どころか
- 4 ばかりか

(3) あんな高いレストランには2度と行く \_\_\_\_\_。

- 1 ものか
- 2 ことか
- 3 ようだ
- 4 だろう

(4) 環境の問題を \_\_\_\_\_ 参加者から多くの意見が出された。

- 1 かぎって
- 2 まわって
- 3 みなして
- 4 めぐって

(5) さすが学生時代にやっていた \_\_\_\_\_ 今でもテニスが上手だ。

- 1 からは
- 2 にはしては
- 3 だけあって
- 4 きっかけで

(6) いっしょうけんめい練習 \_\_\_\_\_、マラソンの選手に選ばれなかった。

- 1 するから
- 2 したのに
- 3 すれば
- 4 したら

(7) 彼女は一番行きたかった大学に合格し、うれしさの \_\_\_\_\_ 跳び上がった。

- 1 とともに
- 2 あまり
- 3 ばかり
- 4 たびに

(8) たとえ仕事が \_\_\_\_\_ あまり文句を言わないほうがいい。

- 1 つらいのに
- 2 つらければ
- 3 つらいなら
- 4 つらくても

(9) あわてたところを \_\_\_\_\_、彼は事実を知っているにちがいない。

- 1 みると
- 2 みて
- 3 みたとき
- 4 みるなら

(10) あの子はあまり食べられない \_\_\_\_\_ ごちそうをたくさん皿にとりたがる。

- 1 くせに
- 2 せいに
- 3 うえに
- 4 ものに

問題四 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も  
適当なもの一つを選びなさい。 毎題5分

100年ほど前にあたる1900年のとき、地球上の人口はおよそ16億人であった。それが現在、55億人になっている。

私たちが金魚鉢の金魚だと思えばよい。3匹の金魚が突然3.5倍の11匹に増えれば水が濁るように、3.5倍も人口が増えれば環境に何らかの悪い影響が出るのは当然であろう。この人口のまま止まればまだよいのだが、(中略)たいへんな勢いでまだ増え続けている。

1991年での世界人口の増加率は1.7%と推定されているが、それで計算すると、人口は40年間で倍増することになる。この増大傾向の修正のためには、地球上の私たち全員のライフスタイルの見直しが急務である。それにはどのような課題があるのだろうか。(中略)

1つは私たち全員の価値観の問題である。伝統的価値観として「子沢山」が望ましいと見なす民族は世界でも少なくない。私たちの民族もそうである。子沢山を祝福する気持ちが私たちの国では現在でもあり、にぎやかな家庭の幸福像を描きがちである。1989年に、1人の女性が一生の間に平均して何人の子供を産むかという合計特殊出生率が1.57になったときに、1.57ショックといって大騒ぎになった。その騒ぎも、この価値観と関連している。そのときに、子供が1人ではかわいそうだ、日本の将来の労働力の減少をどうするか、というような指摘があった。自民族の人口の減少に対する警戒心はたいへん強いのである。もちろん、ここでは国や民族レベルでの議論をしているのであって、個別の家族の子沢山の是非を論じているのではない。

2つ目の問題は社会システムの問題である。とくに貧困と差別について考える必要がある。国の経済力不足などで国の社会保障が十分でない、老後などを心配して国民はある人数の子供をつくらうとする。また、貧しい家族は子供に家族の労働力を期待して子沢山になる傾向が見られる。

さまざまな差別が人口に関わるライフスタイルに影響を与えるが、とくに男女差別は直接的な影響を与える。環境と開発に関する世界委員会がまとめた『地球の未来を守るために』(Our Common Future)は女性の地位の向上が子供数の減少につながると指摘したが、これは大切な指摘であろう。女性の地位が向上すれば、家族内での子供を産むかどうかということについて女性の発言権が増大し、そのような社会においては子供数が減少

する。また、女性の雇用機会が十分に与えられている社会では、婚姻年齢が上昇し、そのことが子供数の減少につながっているという。

(鳥越皓之編『環境とライフスタイル』 有斐閣アルマによる)

(注1) ライフスタイル：生活する上での価値観や考え方、生活様式

(注2) 子沢山：子供の数が多きこと

(注3) 婚姻：結婚

問1 ①「この人口のまま止まればまだよい」とあるが、どういう意味か。

- 1 人口はまだ勢いよく増えているから環境を守ることができる。
- 2 人口の増加率が現在と同じ程度であれば環境への影響はない。
- 3 今以上に人口が増えなければ環境の悪化もそれほどではない。
- 4 人口が100年前と同じ16億人であれば環境への影響はない。

問2 ②「ライフスタイルの見直しが急務である」とあるが、どうしてライフスタイルを急いで変える必要があるのか。

- 1 ライフスタイルを変えれば、人口の増加率を低くしていくことができるから。
- 2 ライフスタイルを変えれば、人口が増えても環境に悪い影響を与えないから。
- 3 ライフスタイルを変えれば、食料生産が間に合って生活が豊かになるから。
- 4 ライフスタイルを変えれば、日本でも子供の数を増やすことができるから。

問3 ③「その騒ぎも、この価値観と関連している」とあるが、どういうことか。

- 1 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供は要らないという現在の家族観に合致すること
- 2 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が減ったことは、子供の数が多きほうがよいという伝統的な家族観に反すること
- 3 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が増えたことは、子供は要らないという現在の家族観に反すること
- 4 日本で1人の女性が一生の間に産む子供の数が増えたことは、子供の数が多きほうがよいという伝統的な家族観に合致すること

問題五 次の(1)、(2)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えを書きなさい。

毎題 10分

問4 ④「国民はある人数の子供をつくろうとする」とあるが、どうしてそうするのか。

- 1 国全体で老人より若い世代が多いほうが、労働力が豊かでいいと考えるから。
- 2 平均寿命が短いため、子供もたくさんつくっておいたほうがいいと思うから。
- 3 親が死んだあとに、子供が一人残ってしまうのはかわいそうだと思うから。
- 4 何人か子供がいれば、年を取ってから世話をしてもらえると考えるから。

問5 ⑤「そのような社会」とあるが、どういう社会か。

- 1 夫が子供の数を決められる社会
- 2 男女差別がまだ強く残っている社会
- 3 妻の意見が尊重される社会
- 4 老後の保障が十分でない社会

問6 この文章のまとめとして最も適当なものはどれか。

- 1 日本の女性が一生の間に産む子供の数が1.57人にまで減ったのは、国や民族の存続に関わる大きな問題だ。
- 2 人口の増大傾向を止めるには、子沢山を望ましいとする価値観を変え、貧困や男女差別をなくす必要がある。
- 3 家庭内の女性の地位が向上し、女性の雇用機会が十分あれば、男女差別もなくなるし環境問題も解決できる。
- 4 地球の環境を守るためには、人口増加率をおさえて100年前の16億人程度にまで減らさなければならない。

(1) 小さな子供たちは見るもの、さわるもの、なんでも不思議がります。

「あれなあに?」「なぜ?」「どうして?」の連発で大人たちをこまらせます。いざ(注1)説明してやろうと思って、どうしてもうまく説明できず、自分ではわかっていると思っ(注2)ていたことが、じつはさっぱりわかっていた、と発見させられることがあります。

(大野栄一『数学なんてこわくない』による)

(注1) ~の連発で：~と続けて聞いて

(注2) いざ：さあ、それでは

【問い】 「発見させられる」とあるが、何を発見させられるのか。

(2) 時間に対比(注1)されるのは空間(注2)である。時間がたつというのは、いまが過ぎてゆくことだともいえる。いまがもとのいまでなく、別のいまになってゆくことである。いまは何もしないでじっとしていても移ってゆくように見える。しかしいまに対比されるここ、われわれの現にいる場所、にはこのようなことはない。いまわたしは机に向かって坐(注1)っているが、動こうとしなければいつまでも坐ったままでいられる。空間がわたしの手を引っぱって、わたしを違う場所に移すわけではない。しかしわたしはじっとしているのに、時間の方はどんどんたってゆく。これは実に不思議なことである。

(中村秀吉『時間のパラドックス』による)

(注1) 対比する：二つを比較する

(注2) 空間：場所

【問い】 「これは実に不思議なことである」とあるが、筆者にとって何が不思議なのか。